

発表演題

2018年2月24日

口述発表

- 一般演題 A 演題番号 A 1 ~ 7
- 一般演題 B 演題番号 B 1 ~ 7
- 一般演題 C 演題番号 C 1 ~ 7
- 一般演題 D 演題番号 D 1 ~ 8

A-1. 左大腿骨転子部骨折を受傷し、心因的な影響が大きく、術後荷重に難渋した症例

総合守谷第一病院 坂巻 勇斗

A-2. 運動学習不良な患者に対し、エロンゲーショントレーニングを取り入れた一症例

守谷慶友病院 加藤 磨美

A-3. 左大腿骨転子部骨折術後に下肢筋力低下をきたし立位保持不安定となった症例
～トイレ動作に着目したアプローチ～

介護老人保健施設セントラルゆうあい 及川 美幸

A-4. 人工股関節置換術後脱臼により長期入院となった症例～自宅内での歩行自立を目指して～

守谷慶友病院 河村 彩貴

A-5. 運動療法に電気刺激療法の中周波刺激を併用することで早期に筋力は回復するのか？
～膝蓋骨骨折術後の一症例～

東京医科大学茨城医療センター 早瀬 裕也

A-6. 転倒により右大腿骨転子部骨折を呈した症例 一歩行時痛の軽減を目指して一

牛尾病院 長谷川 成美

A-7. 左大腿骨頸部骨折患者の早期自宅退院への取り組み

宮本病院 藤沢 椋太

B-1. 内部疾患における運動耐容能に対する介入～歩行耐久性と自己管理に着目した地域社会への参加～

つくばセントラル病院 小室 匠

B-2. 本人・家族の方向性を統一することにより自宅退院を実現した1症例

取手北相馬保健医療センター医師会病院 菊地 信哉

B-3. 長期臥床により起立性低血圧を呈した症例 ～離床時間増加を目指した取り組み～

つくばセントラル病院 脇 千尋

B-4. 転倒の可能性と認知機能低下があり自宅退院に向けてチーム連携を行った症例

つくばセントラル病院 小野 寛悟

B-5. 入院中の生活の変化が患者の意欲向上につながった症例

守谷慶友病院 根本 和季

B-6. 慢性呼吸器疾患により呼吸機能が悪化した症例

～呼吸指導による酸素化と呼吸困難感の変化に着目して～

取手北相馬保健医療センター医師会病院 武末 真美

B-7. 脳卒中の既往があり、左大腿骨頸部骨折を受傷した症例 ～基本動作の再獲得を目指して～

総合守谷第一病院 小室 悠作

C-1. 左膝蓋骨骨折後に Extension Lag が残存した症例

JA とりで総合医療センター 矢野 敦大

C-2. 既往に脳梗塞左片麻痺があり,左大腿骨転子部骨折により骨接合術を呈した症例へ,
二次障害リスク軽減を目的に介入したケース

つくばセントラル病院 松本 理沙

C-3. 認知症患者の起立拒否に対しての介入 ~シェイピングを用いた起立動作誘導~

つくばセントラル病院 小西 泰彰

C-4. 両側頭頂葉病変により多彩な高次脳機能障害を呈した症例

茨城県立医療大学付属病院 安部 厚志

C-5. 長時間の座位姿勢後に腰痛を発症し,座位保持が困難となった症例

つくばセントラル病院 佐藤 遥夏

C-6. 腰部脊柱管狭窄症により, 神経症状と歩行時ふらつきを呈した症例

牛尾病院 宮澤 峻

C-7. 既往に脊柱管狭窄症を持つ第五腰椎圧迫骨折の症例に
代償動作を取り入れ疼痛コントロールを行い,立位姿勢が向上したケース

つくばセントラル病院 飯塚 慶祐

D-1. パーキンソン病により転倒リスクを有した症例
～Mini-BESTestを指標とした課題指向型アプローチ～

茨城県立医療大学付属病院 草野 凌

D-2. 安定した屋内歩行を目指して ～麻痺側荷重応答期に右後方に姿勢を崩した一症例～

J Aとりで総合医療センター 山岡 隆真

D-3. 右脳幹出血により失調・複視を呈した症例 ～座位および立位姿勢保持に難渋した症例～

牛久愛和総合病院 片桐 堯

D-4. 右視床出血により、左片麻痺を呈した症例 ～基本動作の獲得に着目して～

牛久愛和総合病院 山田 晃大

D-5. くも膜下出血により片麻痺と高次脳機能障害を呈した症例
～身体機能の向上と家族指導により在宅復帰を目指して～

介護老人保健施設春秋園 寺嶋 亮

D-6. パーキンソン病を既往に持つ脳出血患者に対してステップ練習を反復し、歩行が自立した症例

J Aとりで総合医療センター 瀧ヶ崎 里歩

D-7. 重度褥瘡患者に対し積極的に離床を進めたことで移乗介助量の軽減につながった症例

東京医科大学茨城医療センター 山住 幸平

D-8. 頸椎症性脊髄症により歩行困難を呈し独居のために独歩獲得した症例

つくばセントラル病院 佐々木 拓実